

## 一般演題【臨床その他】

### 腸閉塞・イレウスに対する高気圧酸素療法、無効症例の検討

西森英史 澤田 健 三浦秀元 大野敬祐  
柏木清輝 鬼原 史 矢嶋知己 岡田邦明  
秦 史壯

札幌道都病院 外科

#### 【緒言】

腸閉塞・イレウスに対する治療は絶食による腸管安静、経鼻胃管あるいはイレウス管留置による腸管減圧、高気圧酸素療法 (HBO) そして外科手術がある。HBOは特殊な器機を要するが、非侵襲的であり、有効率は80%以上とされる。

#### 【目的】

腸閉塞あるいはイレウスに対する高気圧酸素療法の無効例 (有害事象での中止、治療拒否および死亡例を含む) を検討した。

#### 【対象】

2011年6月から2023年5月末までに、腸閉塞・イレウスに対し当院で施行したHBO 1078例中、無効と判断した179例 (16.6%)。

#### 【結果】

平均年齢は75.4歳。男性89例、女性90例。腹部手術後 (30日以内) 症例は31例 (17.3%)、腹部手術歴ある症例94例 (52.5%)、開腹歴なし症例54例 (30.2%)。経鼻胃管併施例は65例 (36.3%)、イレウス管併施例は44例 (24.6%) (重複含む)。有害事象での中止は13例、治療拒否は10例、不穏等で施行不可が7例および死亡例 (原病死) が26例 (14.5%)であった。全無効症例のHBO平均施行回数は4.4回であった。全無効症例の49.2% (88例) に手術が施行された。癒着剥離のみ40例 (45.5%)、腸切除は30例 (34.1%)、ストマ造設は7例 (8.0%)、バイパス術は4例 (4.5%)、その他6例であった。術死は2例 (2.3%) に認めた。手術以外の91例は、原病死24例 (26.4%)、イレウス管留置16例、HBO継続 (慢性期として) 4例、その他46例は保存的治療を継続した。有害事象での中止13例の内訳は、耳痛が6例 (1例はパニックに)、閉所恐怖症が5例、腹痛および頻尿が各1例で、重

篤な合併症は認めなかった。

#### 【考察と結語】

腸閉塞・イレウスに対しHBOは安全で有効な治療法である。しかし本検討のように無効例や様々な理由で施行できない症例も多い。無効例の半数に手術を要しており、その3割以上に腸切除が施行されている。2018年から腸閉塞に対しHBOは10回まで施行できるように延長されたが、漫然と施行せず、手術のタイミングを逸しないことが重要である。